

「毛利家文書を読み解く」

● 主催 ● (財) 広島市ひと・まちネットワーク ・ 広島市

安芸国吉田庄の地頭から出発して戦国大名に成長した毛利家に伝来した文書は、『大日本古文書家わけ第八毛利家文書』として刊行されています。しかし、活字になっているとはいえ、難解な語句も多く、そう簡単に「読める」わけではありません。

でも大丈夫です！この講座では、毛利家文書に関する基礎知識をお話しした上で、日本史と古典文学の教員が、多様な視点から毛利家文書を読み解いていきます。難解そうにみえる古文書も、「読み解き方」を習って『広辞苑』程度の辞書を座右に置けば、何とか読めるようになります。

とくに毛利家文書には、毛利元就・隆元らの自筆書状が数多く収められていますから、戦国大名やその妻たちの心の内側に迫っていくことができます。自分で古文書が「読める」ようになれば、きっと戦国時代の見方が変わるでしょう。

2/3

(土)

13:00~14:50 * 秋山 伸隆 教授

「毛利家文書の基礎知識」

15:00~16:50 * 五條 小枝子 助手

「隆元家の教育問題－尾崎局は教育ママか？－」

13:00~14:50 * 秋山 伸隆 教授

「郡山城の構造を文書から探る」

15:00~16:50 * 本多 博之 助教授

「天下人と毛利氏」

2/10

(土)

2/24

(土)

13:00~14:50 * 秋山 伸隆 教授

「元就・隆元父子の往復書状を読む」

15:00~16:50 * 西本 寮子 教授

「戦陣で写した書物、詠んだ歌－元就と文芸－」

■日 時：平成19年2月3日(土)、10日(土)、24日(土) 13:00~17:00

■会 場：まちづくり市民交流プラザ マルチメディアスタジオ(北棟6階) 広島市中区袋町6番36号

■対 象：広島市内に在住か通勤・通学の人

■定 員：抽選60名 ※抽選結果の発送は、平成19年1月18日(木)を予定しています。

■受講料：3,000円

■申込方法：はがきに(一人1枚)、①氏名(フリガナ)、②住所、③電話番号を記入して、(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局「連携講座係」へ。

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

■問合せ先：(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局

TEL 541-5335 FAX 541-5611

■申込締切：平成19年1月15日(月) 必着

申込みの際にお寄せいただいた個人情報については、事業運営以外の目的には使用しません。

1 「毛利家文書の基礎知識」

日時：2月3日（土）13:00～14:50
内容：毛利家に伝来した文書が、いつどのように整理され、『毛利家文書』として刊行されたのかをお話しした後、異体字・変体などの基本例や現代語とは異なる意味をもつ難解語句、独特の言い回しなどを、用例に即してわかりやすく解説します。
講師：県立広島大学教授 秋山 伸隆さん

2 「隆元家の教育問題 —尾崎局は教育ママか?—」

日時：2月3日（土）15:00～16:50
内容：毛利隆元が急逝したのは、永禄六年八月。その時、隆元の正嫡尾崎局は35歳、嫡子輝元は11歳でした。尾崎局は、輝元をいかにして育てあげたのか。元就をはじめ毛利家の人々と交わした書状から、尾崎局の教育方針を探ります。
講師：県立広島大学助手 五條 小枝子さん

3 「郡山城の構造を 文書から探る」

日時：2月10日（土）13:00～14:50
内容：戦国時代の代表的な山城である郡山城の構造を、『毛利家文書』を中心とする古文書から読み解いていきます。元就や隆元は城内のどこで暮らしていたのか、家臣はどこに詰めていたのか、城内に女性や子どもたちはいたのか、数々の謎に迫ります。
講師：県立広島大学教授 秋山 伸隆さん

4 「天下人と毛利氏」

日時：2月10日（土）15:00～16:50
内容：『毛利家文書』には、「天下人」（信長・秀吉・家康）に関するものも多数含まれています。織田政権が登場し、豊臣政権を経て徳川政権が誕生する激動の時代、中央政界の情勢と毛利氏の動向について文書から探ります。
講師：県立広島大学助教授 本多 博之さん

5 「元就・隆元父子の 往復書状を読む」

日時：2月24日（土）13:00～14:50
内容：毛利家を一代で戦国大名に成長させた元就、戦国武将としては稀に見る生真面目人間である隆元、父と子が家臣たちの目に触れないように取り交わした秘密の自筆書状を読み解きながら、戦国の乱世を生き抜いた武将たちの心の内側に迫ります。
講師：県立広島大学教授 秋山 伸隆さん

6 「戦陣で写した書物、詠んだ歌 —元就と文芸—」

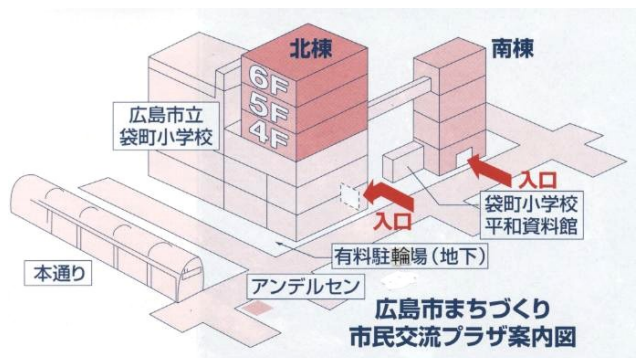
日時：2月24日（土）15:00～16:50
内容：武将たちは戦いの合間に和歌や連歌を楽しみ、軍記の世界に親しんでいました。元就と周囲の人々が戦陣で詠んだ歌のいくつかを読み解くことから始め、『太平記』など毛利家周辺に残る文芸資料についてお話しします。
講師：県立広島大学教授 西本 察子さん

会場



アクセス

- 市内電車：袋町電停から徒歩約3分
- バス：袋町バス停から徒歩約3分
- アストラムライン：本通駅から徒歩約6分



- ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ※自転車・バイクの方は、地下に公共駐輪場（有料）がございます。